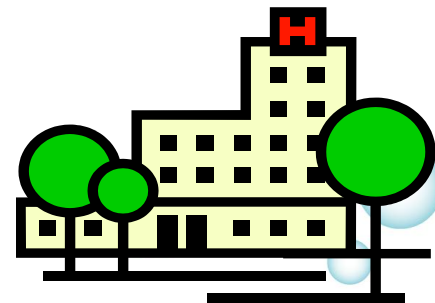


# さんむ医療センターの緩和ケア

「がん拠点 病院はさんむ医療センターから遠方であり  
がん治療が終了した後も遠方の病院に入院したまま望郷の  
思いで最期を迎えようとしている患者さんや ご家族も  
少なくはないはず・・・」という観点から  
平成19年11月より緩和ケア外来を開設しました。

平成24年4月よりがん診療連携協力病院としても  
スタートし、がん治療における切れ目のない医療を  
提供していきたいと考えております。



# さんむ医療センター緩和ケア外来

月曜日の午前中（新患専用）・水曜日・金曜日の午後に  
完全予約制で実施しています。

緩和ケア外来を受診する患者様はご自分の病状を理解され  
緩和医療を受けたいと望まれる方が対象となります。

しかし、ご高齢で認知症のために病気が認識できない患者様に  
関しては、相談しながら住み慣れた地域で緩和ケアが  
受けられるよう配慮しています。

十分なコミュニケーションをはかるため  
完全予約制で行っています。

予約は地域医療連携室でお願いいたします。



# さんむ医療センター緩和ケアチームのメンバー紹介



医師・緩和ケア認定看護師・緩和ケア認定薬剤師・栄養士・  
メディカルソーシャルワーカー・訪問看護師・退院調整看護師など  
多職種で活動しています

# さんむ医療センターの緩和ケアの特徴

一般病棟における  
緩和ケアに力を  
入れています

外来の患者様も24時間  
体制でバックアップ  
緊急時にいつでも対応

住み慣れた地域で過ごすために・・・



認知症を抱える患者様も  
受け入れています

在宅に戻ってもバック  
アップベッド体制をとり  
安心した在宅医療を提供



# 入院患者様のお食事

栄養科では、食欲不振の患者様を対象として丼もの・麺類などのアラカルトメニューを出しています。



ご高齢の方に人気のうな重



食器も陶器に変えています

栄養士が個別に訪問し、アラカルトメニュー以外や味付けの好みにも対応しています  
食べること＝生きることを支えに活動しています。

# 患者会～鈴の会の活動風景



毎年恒例の年末餅つき大会

鈴の音は時には、癒しの音色、  
危険を知らせる音色、  
助けを呼ぶ音色だったり  
するのではないかという思いから  
「鈴の会」と名付けました。



## 鈴の会の目的

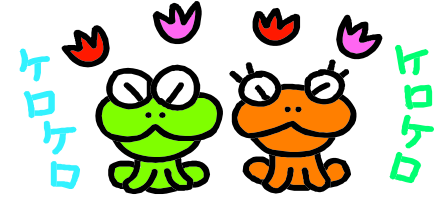
- 患者家族の相互交流と親睦をはかる
- 治療と介護に対する知識を深め  
日常生活にいかす
- 医療体制・介護体制の理解を深める

## 毎月の定例会

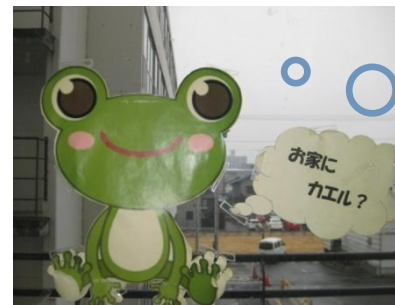




# 訪問看護ステーション



さんむ医療センターには病院併設の訪問看護ステーションがあります。住み慣れた我が家で過したいと希望する患者様とご家族のサポートをしています。医師と24時間体制の連絡を整え、緊急時にも対応し安心した在宅療養に向けて活動しています。



訪問看護  
ステーションの  
キャラクター  
おうちにカエル

# ピア・サポートの活動



これからのこと、  
これまでのこと…  
気持ちを言葉して  
みませんか？

さんむ医療センターに通院・入院している  
がん患者様・地域にお住いのがん患者様と  
ご家族を対象に大腸がん・乳がんを体験者  
された方がピアサポートの活動をしています。

「ピア」とは「仲間」という意味で、  
同じような境遇やよく似た体験者をもつもの  
どうしが助け合うことを「ピア・サポート」  
といいます。隔週ですが、完全予約制で行って  
います。

予約は地域医療連携室までお願いいたします。